

外科専門研修について

1) 外科専門医は初期臨床研修修了後、3年（以上）の専門研修で育成されます。3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低6カ月以上の研修を行います。専門研修の3年間の1年目、2年目、3年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。

2) 年次ごとの専門研修計画

専攻医の研修は、毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次ごとの研修内容・習得目標の目安を示します。なお、習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照ください。

① 専門研修1年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は、定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。

② 2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。

③ 3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。

具体例

- ・ 専門研修1年目
基幹施設に所属し研修を行います。
症例数 200例以上（術者 30例以上）
- ・ 専門研修2年目
連携施設群Bのうちいずれかに所属し研修します。
症例数 200例以上（術者 70例以上）
- ・ 専門研修3年目
原則として、基本基幹病院で研修を行います。
症例数 150例以上（術者 60例以上）
不足症例に関して、各領域をローテートします。

【新古賀病院群外科専門プログラムモデルコース】

例1	1年目	2年目		3年目
	新古賀病院	聖マリア病院	古賀病院21	新古賀病院

例2	1年目	2年目		3年目
	新古賀病院	古賀病院21	聖マリア病院	新古賀病院